

PAT-NO: JP02002370473A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002370473 A

TITLE: DRUG ADMINISTRATION CALENDAR

PUBN-DATE: December 24, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
YAMAMOTO, MASAO	N/A
TAKAYAMA, MASASHI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MUSSHU:KK	N/A

APPL-NO: JP2001180078

APPL-DATE: June 14, 2001

INT-CL (IPC): B42D005/06, A61J007/04 , B42D005/04

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent a drug received from a hospital or a pharmacy from being forgotten to be taken.

SOLUTION: A drug administration calendar comprises a display of an administration time zone of the drugs for a morning, a daytime and an evening or the like in date columns 1 and 1, and a drug bag 2 capable of being detachably mounted at the display part of each administration time zone.

COPYRIGHT: (C)2003,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-370473
(P2002-370473A)

(43) 公開日 平成14年12月24日 (2002. 12. 24)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームコード*(参考)
B 4 2 D 5/06		B 4 2 D 5/06	B
A 6 1 J 7/04		5/04	H
B 4 2 D 5/04		A 6 1 J 7/00	P

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2001-180078(P2001-180078)

(22) 出願日 平成13年6月14日 (2001. 6. 14)

(71) 出願人 390026985

株式会社ムッシュ

東京都千代田区岩本町2丁目8番5号

(72) 発明者 山本 将生

東京都千代田区岩本町2丁目8番5号 株式会社ムッシュ内

(72) 発明者 高山 政士

大阪府大阪市東成区中本5丁目12-26-1109

(74) 代理人 100065086

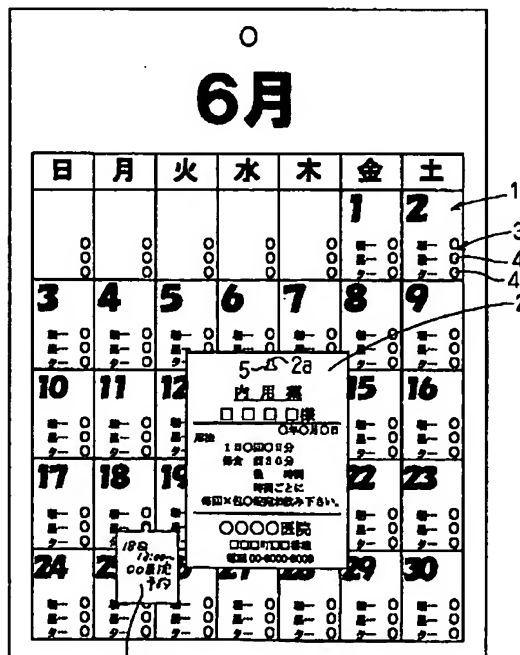
弁理士 前田 清美

(54) 【発明の名称】 薬服用カレンダー

(57) 【要約】

【課題】 病院や薬局で受け取った薬の飲み忘れを防止できるようにする。。

【解決手段】 日付欄1、1内に朝・昼・夕等の薬の服用時間帯の表示を有し、各服用時間帯の表示部分に薬袋2を着脱可能に取り付けることができるようにした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】日付欄内に朝・昼・夕等の薬の服用時間帯の表示を有し、各服用時間帯の表示部分に薬袋を着脱可能に取り付けることができるようにしたカレンダー。

【請求項2】朝・昼・夕等の薬の服用時間帯の表示を有する日付欄に、各服用時間帯に対応する係合孔をあけ、この係合孔に、フック部と係留片部が幅の狭い首部で連続する係合片の前記係留片部が挿入されて裏面に係合し、フック部に、薬袋が吊り下げられるようにしたカレンダー。

【請求項3】前記係合片は若干弾性を有する素材よりなり、係留片部の横幅は係合孔の径よりも大であるが、係留片部は係合孔に挿入される際に撓められることにより横幅が小となって係合孔を通過し、裏側にて係留片部が適度に弾性復元して裏面に係合するようにした請求項2に記載のカレンダー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はカレンダーに関し、より詳しくは病院や薬局等で処方された薬を忘れずに服用できるようにしたカレンダーに関する。

【0002】

【薬の服用について】病院や薬局等で処方された薬は処方通りに服用しなければ十分な治療効果を得られないが、つい飲み忘れてしまうことが往々にしてある。従来から、日付毎に薬を分けて収納することができるようにした薬箱があり、このような薬箱には日付を表示した多数の引き出しを備えるものや箱の内部を仕切壁で日付毎に区画したものなどがあるが、薬を日付毎に小分けする手間が掛かるし、薬の飲み忘れを防止できるものではない。

【0003】

【発明の目的】そこで本発明はカレンダーの日付欄に薬袋を吊り下げることができるようにして薬の飲み忘れを防止できるようにした。

【0004】

【発明の構成】上記目的を達成するために、本発明に係るカレンダーは、日付欄内に朝・昼・夕等の薬の服用時間帯の表示を有し、各服用時間帯の表示部分に薬袋を着脱可能に取り付けることができるようにした。

【0005】また、本発明に係るカレンダーは、朝・昼・夕等の薬の服用時間帯の表示を有する日付欄に、各服用時間帯に対応する係合孔をあけ、この係合孔に、フック部と係留片部が幅の狭い首部で連続する係合片の前記係留片部が挿入されて裏面に係合し、フック部に、薬袋が吊り下げられるようにしたものとしてある。

【0006】さらに、前記係合片は若干弾性を有する素材よりなり、係留片部の横幅は係合孔の径よりも大であるが、係留片部は係合孔に挿入される際に撓められることにより横幅が小となって係合孔を通過し、裏側にて係

留片部が適度に弾性復元して裏面に係合するようにしたものとしてある。

【0007】

【実施例】以下、本発明の実施例を添付図面に基いて説明する。本実施例のカレンダーは図1に示されるように1か月の暦を表示した1枚ものとしてあり、各日付欄1、1を枠で区画してあって、それぞれの日付欄内に薬袋2の被係合部3を設けてあり、この被係合部には例えば「朝」・「昼」・「夕」等の服用時間帯の表示を付してあるとともに、各服用時間帯の表示に対応する縦長の長円形の孔よりなる係合孔4を設けてあって、この係合孔へ係合片5によって薬袋2を吊り下げるようにしてある。

【0008】係合片5は例えば図2に示されるように略円形状の係留片部6と略二等辺三角形形状のフック部7が横幅の狭い首部8で連続する形状の薄手のボール紙や合成樹脂板等の薄板よりなるものとしてあり、上記係留片部6を前記係合孔4に挿通せしめてこの係留片部を係合孔の裏側へ係合せしめ、またフック部7を薬袋2の上端部寄りにあけた孔2aに係合せしめて薬袋を吊り下げようになっている。

【0009】次に、係合孔4と係合片5の寸法関係について説明する。係合片5はその係留片部6が係合孔4に挿通されてカレンダーの裏面に係合するので、係留片部6の横幅Rを係合孔4の横幅 r_2 よりも大とし、かつ首部8の幅Nを係合孔の横幅 r_2 より小とする。また、係留片部6の幅Rは係合孔の縦幅 r_1 よりも小とする。

【0010】すなわち、係留片部6の横幅R、係合孔4の横幅 r_2 と縦幅 r_1 および首部8の幅Nの関係は、 $r_1 \geq R > r_2 > N$ とする。

【0011】また、フック部7の横幅Wは薬袋2にあけられた吊り下げ用の孔2aの径よりも大とし、係留片部6の横幅Rは吊り下げ用の孔2aの径よりも小とする。

【0012】次に、上述した構成のカレンダーに薬袋2を取り付ける具体例について説明する。まず、係合片5をその横幅方向が上下となるようにして係留片部6を薬袋2の上部寄りに前後方向にあけた吊り下げ用の孔2aに挿通し、さらに係留片部6を係合孔4に通してカレンダーの裏側に臨ませる。

【0013】係留片部6が係合孔を通過して首部8が係合孔の位置に来たら、係合片5をその挿通方向まわりに90度回転させる。かくすると、係留片部6の横幅Rが係合孔4の横幅 r_2 よりも小であるから、係留片部6がカレンダーの裏面に係合し、また、薬袋2は吊り下げ用の孔2aがフック部7における左右の上縁に係合して安定よく吊り下げられる。商品を取り外す際には、係合片5を再び90度回転させ、係留片部6の側縁を縦方向にして引き出せばよい。

【0014】上述した実施例においては、係合孔を縦長

の長円形状としたが、円形の係合孔とする場合もあり、この場合には係合片5を若干弾性を有する素材、例えばボール紙や薄手の合成樹脂材で構成し、係留片部6は係合孔4に挿入される際に撓められることにより横幅が小となって係合孔を通過させられ、カレンダーの裏側に係留片部が弾性復元力により元の横幅に戻されて係合する。なお、係合片の素材は破れにくい材質のものが好ましい。

【0015】また、図1において符号9はメモカードを示し、このメモカードは次回の診察予約日などをメモして該当日の日付欄に吊り下げておけるようにしたものであり、このメモカード9は図4のように前記係合片4と同じく上部に係留片部10を有し、係留片部とカード本体11との間に首部12が形成されており、係合片4との寸法関係や係合方法は係合片と同じであり、係合片に代えてこのメモカードによって薬袋を吊り下げる場合もある。

【0016】上述のように構成した本発明に係るカレンダーの使用法の一例について説明する。病院や薬局で受け取った薬袋2を最初の服用時間帯に対応する被係合部の係合孔に吊り下げておき、最初の服用時に係合片5を係合孔4から外して薬袋から1回分の薬を取り出して服用し、薬袋を次回の服用時間帯に対応する被係合部の係合孔に吊り下げておく。例えば図1では次回の服用が6月6日の夕方であることを示している。

【0017】上述した実施例においては、病院や薬局で受け取った薬袋2をそのまま吊り下げる場合の使用例について説明したが、薬袋を例えば合成樹脂フィルム製の破れにくい専用のものにする場合もあるし、1回あるいは1日の服用分の薬を小袋に分け、これらの小袋をそれぞれ対応する係合孔の部分に並べて吊り下げるようにする場合もある。

【0018】また係合片を使用せず、複数回の貼り直し可能な両面テープやビン等でカレンダーの日付欄内における対応する服用時間帯の表示部分に薬袋を吊り下げるようにする場合もあり、この場合にはカレンダーに係

合孔をあける必要がない。

【0019】さらに、上述した実施例においては、1枚ものの1か月分のカレンダーの例を挙げたが、1枚の裏表で2か月分のカレンダーとする場合もあり、この場合には係合孔を裏表共用とするので、係合孔をあける位置あるいは暦の印刷位置を適宜調整する必要がある。また、カレンダーの構成を月めくりや日めくりタイプのものとする場合もある。

【0020】なお、以上の説明中において薬の服用とは広く薬の投薬・使用を指し、単に飲み薬だけでなく、点眼薬や塗布薬等の外用薬の使用を忘れないようにするために本発明のカレンダーを使用することができるのは当然である。

【0021】

【本発明の作用、効果】本発明に係るカレンダーによれば、次に薬を服用すべき時間帯が一目瞭然にわかり、しかも薬をカレンダーに吊り下げておくので、薬が目につきやすく、したがって薬の飲み忘れを防止することができる。

【0022】また、構成が簡単で安価に製造することができるので、病院や薬局で投薬指導用としても利用しやすいという実用上のメリットもある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るカレンダーの実施例を示す平面図。

【図2】係合片の平面図。

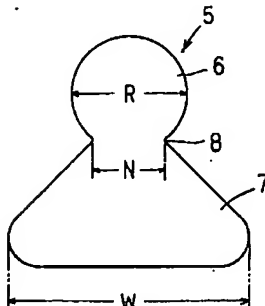
【図3】係合孔を拡大して示す平面図。

【図4】メモカードの平面図。

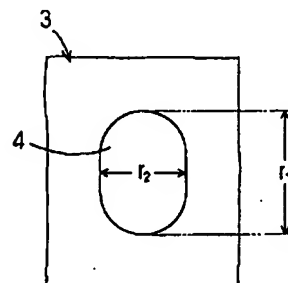
【符号の説明】

- | | |
|----------|---------|
| 1 日付欄 | 2 薬袋 |
| 3 被係合部 | 4 係合孔 |
| 5 係合片 | 6 係留片部 |
| 7 フック部 | 8 首部 |
| 9 メモカード | 10 係留片部 |
| 11 カード本体 | 12 首部 |

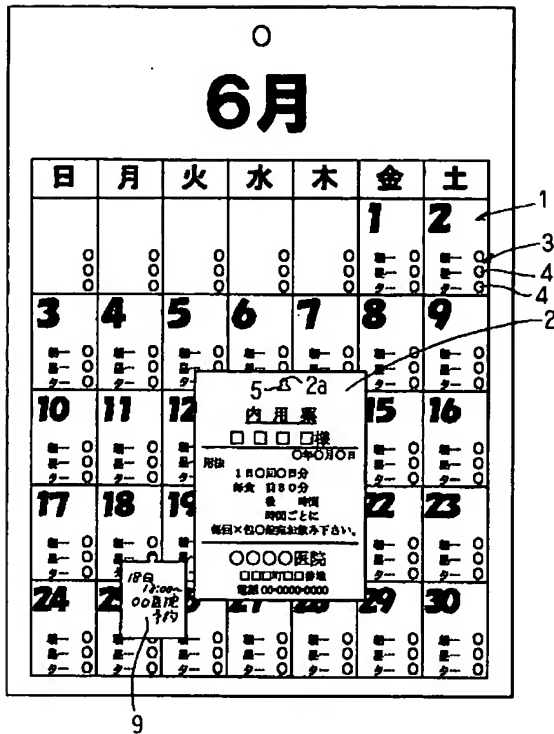
【図2】



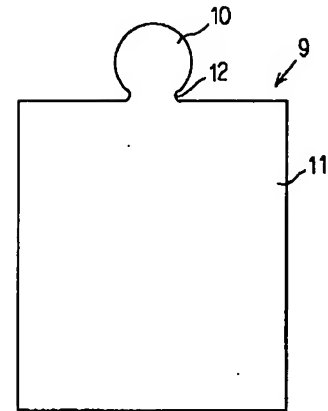
【図3】



【図1】



【図4】



【手続補正書】

【提出日】平成13年8月20日(2001. 8. 20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正内容】

【発明の名称】薬服用カレンダー

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】日付欄内に朝・昼・夕等の薬の服用時間帯の表示を有し、各服用時間帯の表示部分に薬袋を着脱可能に取り付けることができるようにした薬服用カレンダー。

【請求項2】朝・昼・夕等の薬の服用時間帯の表示を有する日付欄に、各服用時間帯に対応する係合孔をあけ、この係合孔に、フック部と係留片部が幅の狭い首部で連続する係合片の前記係留片部が挿入されて裏面に係合

し、フック部に、薬袋が吊り下げられるようにした薬服用カレンダー。

【請求項3】前記係合片は若干弾性を有する素材よりなり、係留片部の横幅は係合孔の径よりも大であるが、係留片部は係合孔に挿入される際に撓められることにより横幅が小となって係合孔を通過し、裏側にて係留片部が適度に弾性復元して裏面に係合するようにした請求項2に記載の薬服用カレンダー。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は病院や薬局等で処方された薬を指定時間帯に忘れずに服用するための薬服用カレンダーに関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正内容】

【0004】

【発明の構成】上記目的を達成するために、本発明に係る薬服用カレンダーは、日付欄内に朝・昼・夕等の薬の服用時間帯の表示を有し、各服用時間帯の表示部分に薬袋を着脱可能に取り付けることができるようにした。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正内容】

【0005】また、本発明に係る薬服用カレンダーは、朝・昼・夕等の薬の服用時間帯の表示を有する日付欄に、各服用時間帯に対応する係合孔をあけ、この係合孔に、フック部と係留片部が幅の狭い首部で連続する係合片の前記係留片部が挿入されて裏面に係合し、フック部に、薬袋が吊り下げられるようにしたものとしてある。